

- 本体取扱説明書 -



<b>1. ご使用になる前に</b>	1
1.1. はじめに	2
1.2. 安全にご使用になるために	12
1.3. 環境保護のための注意	14
<b>2. G-scan Tab を使用するにあたって</b>	15
2.1. 製品仕様	16
2.2. 構成部品	18
2.3. 各部の名称とはたらき	20
2.4. S-PAD の充電について	23
2.5. Wi-Fi と接続する	24
2.5. 車両と接続する	25
<b>3. G-scan Tab 基本機能</b>	26
3.1. メインメニューとシステムツール	27
3.2. 保存データ	43
3.3. 車両診断	47
<b>4. 付属資料</b>	72
4.1. 故障かな？と思ったら	73

## 1. ご使用になる前に

1.1.はじめに .....	2
1.2 安全にご使用になるために .....	12
1.3.環境保護のための注意 .....	14



## 1.1. はじめに

ご使用になる前に

この度は G-scan Tab をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本書には、G-scan Tab 本体の使用方法、本製品を使用いただくにあたって必要な情報が記載されております。  
G-scan Tab をご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

株式会社 インターサポート

お客様への法律上の重要なお知らせ：本ソフトウェアのご使用を開始される前に、以下の契約書をよくお読みください。

お客様がソフトウェアの使用開始時に使用許諾契約書の【ユーザー登録】ボタンまたは【ログイン】ボタンをクリックした時点で、この契約条件に拘束されることに同意したことになります。当該行為はお客様と株式会社インターリンク（以下、「弊社」といいます）と使用許諾契約を締結したことになります。本契約の条項のすべてに同意いただけない場合、お客様は本ソフトウェアをご使用になることはできません。弊社は、弊社の完全な自由裁量により、お客様への事前の通知なしに本ソフトウェアに適用される使用許諾契約書の条項または条件をいつでも追加、変更、または削除できるものとします。かかる条項または条件は、その追加、変更、削除が本契約書に掲載されたと同時に適用されるものとします。お客様は、掲載後に本製品または本ソフトウェアを継続して使用することにより、当該の追加、変更、削除を認めたものとします。

### 第1条 使用許諾

1. 本契約に定める条件下で、弊社はお客様に対して、本ソフトウェアを使用できる非独占的な権利を許諾します。

### 第2条 使用条件

1. 本ソフトウェアは、あらかじめインストールされた製品でのみ使用することができます。
2. 本ソフトウェアは、弊社がお客様に許諾した期間に限り、使用することができるものとします。弊社がお客様に許諾した期間が経過した場合、再びお客様が弊社から使用許諾を得るまで、本ソフトウェアを使用することはできません。
3. 本ソフトウェアは、当社からお客様に対してその使用が許諾されるものです。

### 第3条 途中解約の禁止と代金の不返還

弊社は、使用許諾期間中の途中解約には応じません。お客様が使用許諾期間中に使用を停止されたとしても、代金は返還しません。

### 第4条 禁止事項

弊社が別途承認した場合を除き、お客様は以下のことを行うことはできません。

- (1)第三者に対し、本ソフトウェアの販売をすること。
- (2)本ソフトウェアのエミュレート、複製、貸与、レンタル、リース、販売、変更、逆コンパイル、逆アセンブルまたはリバースエンジニアリングを行ったり、本ソフトウェアまたはその一部の派生物を作成したりすること。
- (3)本ソフトウェアまたはその派生物を、あらかじめインストールされた製品以外のハードウェア製品に組み込むこと。
- (4)本ソフトウェアを公衆送信すること（本ソフトウェアを放送、有線放送、インターネット、イントラネット等の媒体を問わず、ネットワークに送信可能な状態に置くことを含みます）。
- (5)本ソフトウェアに付された著作権その他の権利に関する表示を削除、改変、不明確化すること。

## 第5条 プログラムに関する権利

1. 本ソフトウェアは、著作権法および国際条約上保護される本ソフトウェアの著作物であり、本ソフトウェアに関する知的財産権その他的一切の権利は、弊社に帰属します。
2. 本契約に明示的に規定する権利以外、本ソフトウェアに関連して弊社が保有する特許権、著作権、商標権その他の知的財産権に基づくいかなる権利についても、弊社からお客様に対して、譲渡または使用許諾されるものではありません。

## 第6条 保証の制限

本ソフトウェアは、瑕疵不存在、市場性、お客様における利用可能性、利用目的適合性その他一切の事項に関する保証なしに、「現状のまま」の状態でお客様に提供されます。本ソフトウェアの使用は、お客様によるリスク負担の下、お客様自身の責任と判断で行っていただきます。

## 第7条 免責、責任の限定

法律上の請求の原因を問わず、弊社は本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずるいかなる損害（機会損失、逸失利益、データの喪失を含みます）についても責任を負わないものとします。

## 第8条 診断情報関連

本ソフトウェアは、本ソフトウェアの使用中に診断情報を記録することができます。診断情報は本ソフトウェアの改善に使用されるもので、その他の目的で記録することはありません。本ソフトウェアを使用するにあたり、お客様は弊社が診断情報を収集することに同意するものとします。

## 第9条 契約期間

1. 本契約は、本ソフトウェアの使用を開始した日をもって発効し、弊社がお客様に使用を許諾した期間をもって終了します。
2. 本契約は、第1項の期間中であっても、弊社がお客様において本契約違反があると判断した場合は、弊社はからの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害を請求することができます。
3. 本契約が終了した後も、お客様は、本契約第3条の義務を負います。

## 第10条 不正行為

お客様は、本契約に違反した場合、刑事上および民事上の訴追を受ける場合があります。

## 第11条 変更

弊社は、本使用許諾の内容を必要に応じ、予告なく変更することができます。

## 第12条 雜則

本契約は、日本国法に準拠するものとします。本契約に起因する紛争の解決については、弊社の本社所在地を管轄とする裁判所を、専属的合意管轄裁判所とします。

## 附則

本書は、平成28年2月15日から施行します。

## インターネットサービス利用規約

### 第1条 (目的)

本利用規約は、株式会社インターネットサポート(以下「当社」という)が提供するインターネットサービス(以下「本サービス」という)を利用することに係わる、当社と会員の権利、及び義務、責任事項を規定することを目的とします。

### 第2条 (用語の定義)

本利用規約で使う主な用語の定義は次の通りです。

会員：当社と利用契約を締結した方を会員と呼び、会員には全てユーザーIDを付与します。

ユーザーID：会員を識別し、会員が本サービスを利用するため、会員が定めた文字と数字の組み合わせをいいます。

パスワード：会員が一致することを確認し、会員の個人情報を保護するために、会員が定めた文字と数字の組み合せをいいます。

解約：当社、または会員が利用契約を解約することをいいます。

### 第3条 (規約の効力及び変更)

第1項 本利用規約は、本サービスを通じ公示することで効力が発生します。

第2項 当社は、会員の事前承諾なしに、本利用規約の内容を変更することができます。変更された本利用規約は、本サービスを通じて公示することで効力が発生します。

第3項 会員は、変更された本利用規約に同意できない場合、第21条に従い解約を申請することができます。ただし、会員は解約が完了するまで、変更された本規約に拘束されるものとします。

第4項 本利用規約の効力発生日以後に、本サービスを利用する場合、本利用規約の変更事項に同意したとみなされます。

### 第4条 (利用契約の成立)

第1項 利用申請時、本利用規約を読んで「ユーザー登録」をクリックすることで、本利用規約に同意したとみなされます。

第2項 利用申請者は、本利用規約に同意した時点から、利用申請者が本規約に拘束されるものとします。

第3項 利用申請を当社が承認することで、利用契約が成立します。ユーザー登録の完了を通知することで、当社は利用申請を承認したものとします。

第4項 本サービスは、当社が本サービスを提供する限り存続します。

## 第5条 (利用申請)

利用申請者は、当社が定めた手続きに従い、必要な個人情報を提供して利用申請を行います。

## 第6条 (利用申請の承認)

第1項 当社は、当社で審査の上、利用申請を承認します。

第2項 当社は、次の各号に該当する場合、承認しないことがあります。

1. 本サービス運営設備に余裕がない場合
2. 技術上、支障がある場合
3. その他当社の事情により、承認できない場合

第3項 当社は、次の各号に該当する場合、利用申請を拒否することができます。

1. 本人の実名で利用申請していない場合
2. 他人の名義を使用して利用申請した場合
3. 必要事項に虚偽記載をして利用申請した場合
4. 社会秩序、または公序良俗を阻害する目的で利用申請した場合
5. その他、利用申請要件に不備がある場合

## 第7条 (個人情報の保護)

第1項 当社は会員から提供された個人情報について、別に定める「個人情報保護について」に従い、保有する個人情報の保護に努めます。

## 第8条 (利用者に関する事項の変更)

第1項 会員は、利用申請時に記載した事項が変更になった場合、当社宛に遅延なく所定の様式により届け出なければなりません。

第2項 会員は、会員情報を修正しなかった事に起因する、全ての問題の責任は会員にあります。

## 第9条 (当社の役割)

第1項 当社は、利用申請があった場合、利用申請を承認した後に、会員に本サービスを提供します。

第2項 当社は、本サービス運営設備に障害が生じた場合は、その復旧に努めます。

第3項 当社は、会員から定められた手続きによって申し立てられる意見や、要請が正当と判断される場合には、適切な対応をとるように努めます。対応に時間がかかる場合、会員にその事由を知らせるように努めます。

第4項 当社は、別に定める「個人情報保護について」に従い、保有する個人情報の保護に努めます。

第5項 当社は、利用契約の締結、及び契約事項の変更、解約など、会員との契約関連手続きについて、会員に便宜を図るように努めます。

## 第10条（会員の義務）

- 第1項 会員は、本利用規約で定めた事項と利用案内、または告知事項、電子メールを通じて、当社が公示する事項を守らなければなりません。
- 第2項 会員のユーザーIDとパスワードに関する、全ての管理責任は会員にあります。また、会員のユーザーIDとパスワードの不正使用に起因する、全ての問題の責任は会員にあります。
- 第3項 会員は、自身のユーザーIDやパスワードが不正に使われたという事実を見つけた場合には、直ちに当社に届けなければなりません。また、届けをしないことに起因する、全ての問題の責任は会員にあります。
- 第4項 会員は、本サービスを利用した営業活動はできません。また、会員の営業活動により当社が損害を被った場合、会員は全ての損害に対して賠償の責任を負います。
- 第5項 会員は、当社の事前承諾なしに、本サービスの利用権限を他人に譲り渡すこと、または贈与すること、担保として提供することはできません。また、その事実が明らかになった場合、当社は利用契約を解約することができます。
- 第6項 会員は、次の各号に該当する行為をしてはなりません。
1. 他の会員の個人情報、またはユーザーID、パスワードなどを盗用する行為
  2. 当社、または他人を誹謗中傷、名誉毀損する行為
  3. 当社、または他人に損害を与える行為
  4. 社会秩序、または公序良俗を阻害する行為
  5. 犯罪行為を助長、またはその実行を暗示する行為
  6. 当社、または他人の知的財産権、その他権利を侵害する行為
  7. 他人を侮辱、または脅迫、プライバシーを侵害する行為
  8. 本サービス運営を故意に阻害する行為
  9. 本サービス運営を阻害する目的で多量の情報を送信する行為
  10. 本サービス運営設備の誤作動や、情報の破壊などを誘発するコンピュータウイルスプログラムなどを流布する行為
    11. 選挙期間中であるか否かを問わず、選挙運動、またはこれに類する行為。
    12. 本サービスを利用して得た情報を、当社の事前承諾なしに複製、または流通、商業的に利用する行為
    13. わいせつ物を掲示、またはアダルトサイトにリンクする行為
    14. 本利用規約、及びその他当社が定めた利用条件に違反すると判断される行為
    15. 法令に違反すると判断される行為

## 第11条（サービス利用範囲）

会員は、利用申請を当社が承諾した後に、許諾された範囲内で本サービスを利用することができます。

## 第12条（情報の提供）

当社は、当社の判断により、多様な情報を利用案内、または告知事項、電子メールを通じて会員に提供することができます。

## 第13条（会員の掲示物）

第1項 会員の掲示物には、会員が投稿した文章、情報、当社への質問と返答が含まれます。

第2項 会員の掲示物に起因する、全ての問題の責任は会員にあります。

第3項 会員の掲示物に起因して、第三者の当社に対する請求、訴訟、その他の紛争が発生した場合、会員はその解決に必要となる費用を負担して、当社のために紛争を解決する責任を負います。また、当社が第三者に賠償するなどの損害が発生した場合、会員は全ての損害に対して賠償の責任を負います。

第4項 当社は、会員の掲示物が次の各号に該当する場合、会員の事前承諾なしに削除することができます。

1. 当社、または他人を誹謗中傷、名誉毀損する内容の場合
2. 当社、または他人に損害を与える内容の場合
3. 社会秩序、または公序良俗を阻害する内容の場合
4. 犯罪行為を助長、またはその実行を暗示する内容の場合
5. 当社、または他人の知的財産権、その他権利を侵害する内容の場合
6. 他人を侮辱、または脅迫、プライバシーを侵害する内容の場合
7. 選挙期間中であるか否かを問わず、選挙運動、またはこれに類する内容の場合。
8. わいせつ物を掲示、またはアダルトサイトにリンクする場合
9. 本利用規約、及びその他当社が定めた利用条件に違反すると判断される内容の場合
10. 法令に違反すると判断される内容の場合
11. 本サービスの利用目的に該当しない内容の場合

#### 第14条（掲示物の著作権）

本サービスに掲示された掲示物に関する権利と義務は次の各項になります。

第1項 会員が掲示する全ての掲示物は、当社、または他人の著作権を侵害してはなりません。

第2項 会員は、会員の掲示物が当社、または他人の著作権を侵害したことにより起因する、全ての損害に対して賠償の責任を負います。

第3項 当社が作成した掲示物の著作権は当社に帰属します。

第4項 会員は、本サービスを利用して得た情報を、当社の事前承諾なしに複製、または流通、商業的に利用してはなりません。

第5項 当社は会員の掲示物を活用して、加工、及び販売、広告、宣伝、利用促進、当社出版物、または当社サイトに掲載することなどを目的とする場合、会員の事前承諾なしに掲示物を非独占的に、無償かつ無期限に利用することができます。

#### 第15条（広告掲載及び広告主との取引）

第1項 当社は本サービス運営に必要な場合、収益を目的とした広告を掲載することができます。

第2項 当社は、会員が本サービス上の掲載広告を通じて、広告主の販促活動に参加、または取引した結果により起因する、全ての損害に対して賠償の責任を負いません。

#### 第16条（サービス利用時間）

第1項 本サービスは原則として24時間利用可能です。ただし、定期点検などの事由により当社が定めた日時は除きます。

第2項 当社は、本サービス利用時間を制限することができます。この場合事前に本サービスを通じてその内容を公示します。

#### 第17条（サービス提供の中止など）

第1項 当社は、次の各号に該当する場合、本サービス提供を中止することができます。

1. 停電、または本サービス運営設備に障害が生じた場合
2. 本サービス利用者が集中した場合
3. 電気通信事業者が、電気通信サービスを中止した場合
4. その他、不可抗力の事由がある場合

## 第18条（契約解約）

- 第1項 会員が利用契約を解約する場合、会員が本サービスまたはユーザー登録抹消申請書を通じて、解約を当社に申し込まなければなりません。
- 第2項 当社は、会員の行為が次の各号に該当する場合、会員の事前承諾なしに利用契約を解約することができます。
1. 他の会員の個人情報、またはユーザーID、パスワードなどを盗用した場合
  2. 本人の実名で利用申請していない場合
  3. 他人の名義を使用して利用申請した場合
  4. 必要事項に虚偽記載をして利用申請した場合
  5. 当社、または他人を誹謗中傷、名誉毀損した場合
  6. 当社、または他人に損害を与えた場合
  7. 社会秩序、または公序良俗を阻害した場合
  8. 犯罪行為を助長、またはその実行を暗示する行為を行った場合
  9. 当社、または他人の知的財産権、その他権利を侵害した場合
  10. 他人を侮辱、または脅迫、プライバシーを侵害した場合
  11. 本サービス運営を故意に阻害した場合
  12. 本サービス運営を阻害する目的で多量の情報を送信した場合
  13. 本サービス運営設備の誤作動や、情報の破壊などを誘発するコンピュータウイルスプログラムなどを流布した場合
  14. 選挙期間中であるか否かを問わず、選挙運動、またはこれに類する行為を行った場合。
  15. 本サービスを利用して得た情報を、当社の事前承諾なしに複製、または流通、商業的に利用した場合
  16. わいせつ物を掲示、またはアダルトサイトにリンクした場合
  17. 本利用規約、及びその他当社が定めた利用条件に違反すると判断される場合
  18. 法令に違反すると判断される場合

## 第19条（損害賠償）

会員が本規約に反した行為または不正もしくは違法に本サービスを利用することにより、当社に損害を与えた場合、当社は該当会員に対して相応の損害賠償の請求(弁護士費用を含む)を行う場合があるものとします。

## 第20条（免責事項）

- 第1項 当社は、本サービスの利用に起因する、全ての損害に対して賠償の責任を負いません。
- 第2項 当社は、会員の帰責事由による損害に対して、責任を負いません。
- 第3項 当社は、会員が本サービスを利用した結果、期待する収益を喪失した場合や、本サービスを通じて得た情報、または資料に起因する、全ての損害に対して賠償の責任を負いません。
- 第4項 当社は、本サービスを通じて提供した情報、または資料の正確性に対して、責任を負いません。

## 第21条（準拠法、裁判管轄）

本利用規約に関する紛争については、当社の本社所在地を管轄とする裁判所を、専属的合意管轄裁判所とします。

## ご使用になる前に

本製品を安全にお使いいただくための警告や注意を説明します。

ご使用前によくお読みいただき、十分にご理解ください。

 **危険**

下記の指示に従わずに本製品を取り扱った場合、火災の発生や、人が死亡するまたは重症を負う可能性があります。それにより生じた直接的・または間接的な損害について、当社は一切の責任を負いません。

- 本製品の本来の目的以外には使用しないでください。
- 本製品の次のような環境での使用や保管は、故障の原因となりますので避けてください。
  - 高温、低温、多湿、ホコリ、強い磁場、長時間の直射日光。
- 本製品を使用するときは、危険な環境や車両の駆動部位に近づかないようにしてください。
- 当社が指定した部品およびアクセサリーのみを使用してください。
- いかなる場合においても、製品本体を修理・分解・改造しないでください。お客様自身による修理・分解・改造を行いますと、当社の製品保証およびアフターサービスが受けられなくなります。また、電波法へ抵触する可能性がありますので、絶対にお止めください。
- 本製品のソフトウェアを更新する場合は弊社指定の外部電源から安定した電源を供給していただくか、十分に電池の残量がある状態で行ってください。
- データの破損防止のため、データのバックアップをお勧めします。特に、ファームウェアをアップデートする前に必ずデータをバックアップしてください。
- 電源ケーブルやGVCIは自然に抜けないようしっかりと接続してください。

## 注意

下記の指示に従わずに本製品を取り扱った場合、製品の損傷や人が負傷する可能性など、危険な結果を招くことがあります。

それにより生じた直接的・または間接的な損害について、当社は一切の責任を負いません。

- 製品本体は不安定な場所や滑りやすい場所に置かず、安全な場所に設置し、落とさないようにしてください。
- 製品本体を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。感電や発火の可能性があります。
- 製品本体の上に工具などの物を置かないでください。
- エンジンルームに本製品を近づけて使用するときは、本体および付属品がエンジンなどから発生する熱によって損傷が生じないように注意してください。
- 本製品を持ち運ぶ際は振動や衝撃を避けてください。
- 家庭用電源から電力を供給するときは本製品に付属しているAC / DCアダプターを使用してください。
- 高温になる場所に保管すると、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。
- 万一、本体から漏れたバッテリー液が目や口に入ったら、こすらずに大量の水で洗い流し、すぐに医師の診察を受けてください。
- 聴力を損なう恐れがあるので、適当な音量でのご使用をお勧めします。
- 本製品をお手入れする際は付属品を取り外し、柔らかい布で乾拭きしてください。化学洗剤などは使わないでください。変色・変質する恐れがあります。
- 液晶画面は以下のことに注意してください。
  - タッチするときは先端が固くとがった物でタッチすると、液晶画面が破損する可能性があります。
  - 液晶画面は水などの液体で濡らさないようにしてください。
  - 液晶画面が破損した場合、中の液晶が漏れる可能性があります。液晶画面が破損したときは決して触らず、中の液晶が目や口に入らないよう十分ご注意ください。万一、液晶が目や口に入ったら、こすらずに大量の水で洗い流し、すぐに医師の診察を受けてください。

ご使用になる前に

本製品を廃棄する際は、各自治体が定めるリサイクル・廃棄方法および他の関連する法令を確認、遵守してください。



## 警告

本製品を廃棄するときは、一般のごみと一緒にせず自治体の定める方法に従い廃棄してください。

許可なしに焼却や埋め立てなどの手段によって廃棄すると、行政処分の対象となる可能性があります。

## 2. G-scan Tab を使用するにあたって

2.1.	製品仕様	16
2.2.	構成部品	18
2.3.	各部の名称とはたらき	20
2.4.	S-PAD の充電について	23
2.5.	Wi-Fi と接続する	24
2.5.	車両と接続する	25

G-scan Tab を使用するにあたって

### s-Pad

本体仕様	
OS	Windows 10 Home
CPU	Intel Atom Z3735F 1.3GHz
メモリー	2GB DDR3L
ストレージ	32GB eMMC
ディスプレイ	9.7 インチ IPS パネル (2,048×1,536 ドット) 10 点マルチタッチパネル (静電容量方式)
Wi-Fi	IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz)
Bluetooth	Bluetooth 4.0 Class1
外部デバイス	microUSB×1 , microHDMI×1 , イヤホン端子×1 microSD カードスロット×1 (最大 128GB)
内蔵カメラ	前面 200 万画素、背面 500 万画素
サウンド	AAC Dual Speaker
バッテリー	容量 8,000mAh
	充電時間 約 5 時間※
AC アダプター	入力 AC100V-240V (50/60Hz) 出力 DC5V 2.5A
本体寸法	240.0 mm (L) X 169.0 mm (W) X 8.2mm(H)
本体重量	約 530g

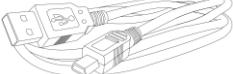
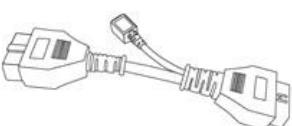
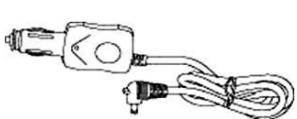
※お客様によるバッテリーの交換は出来ません。充電時間はご利用状況によって異なります。

## GVCI

本体仕様		
CPU	ARM 32-bit Cortex-M4/180MHz	
メモリー	Flash Memory 2MB/SRAM 256KB	
電源動作範囲	7~30VDC	
温度条件	動作時	-10°C ~ 50°C
	保管時	-20°C ~ 80°C
本体寸法	58 mm ×74mm×36mm	
本体重量	90 g	

G-scan Tab を使用するにあたって

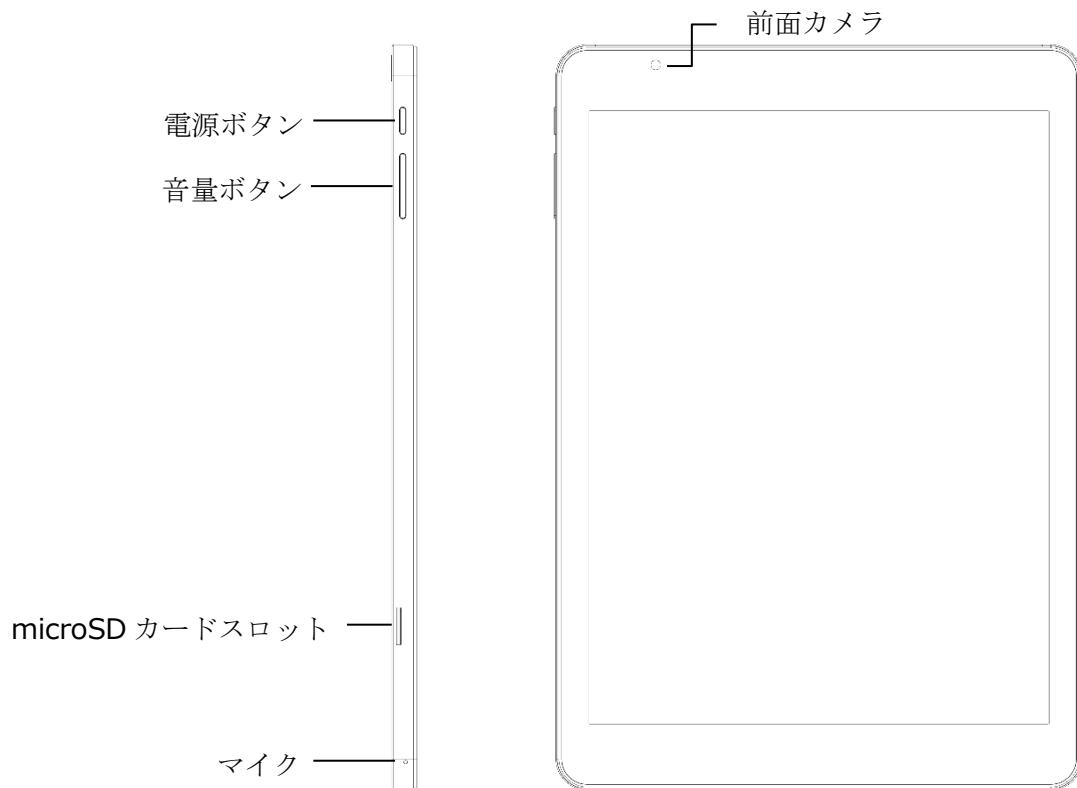
**基本付属品**

部品図	部品名・用途	数量
	部品名: s-Pad	1
	部品名: ACアダプター s-Padを充電する際に使用します。	1
	部品名: USBケーブル s-PadとACアダプターを接続する際に使用します。	1
-	部品名: OTGケーブル s-PadをUSBホストにする際に使用します。	1
	部品名: GVCI 車両のOBD-IIコネクターに接続し車両診断をする際に使用します。	1
	部品名: GVCI延長ケーブル GVCIが車両に直接接続できない場合、または、OBD-IIコネクターに電源が供給されていない車両に接続する際に使用します。	1
	部品名: シガライター電源ケーブル 車両シガライターソケットよりGVCIに電源を供給する際に使用します。	1

## オプション別売品

部品図	部品名・用途
	部品名: ハードケース 持ち運びに便利なハードケース。s-Padを収納できます。
—	部品名: シリコンカバーセット（ネックストラップ・ハンドベルト付） s-Padを汚れ・キズから保護します。
—	部品名: 保護フィルム（ガラス） s-Pad液晶部を汚れ・キズから保護します。

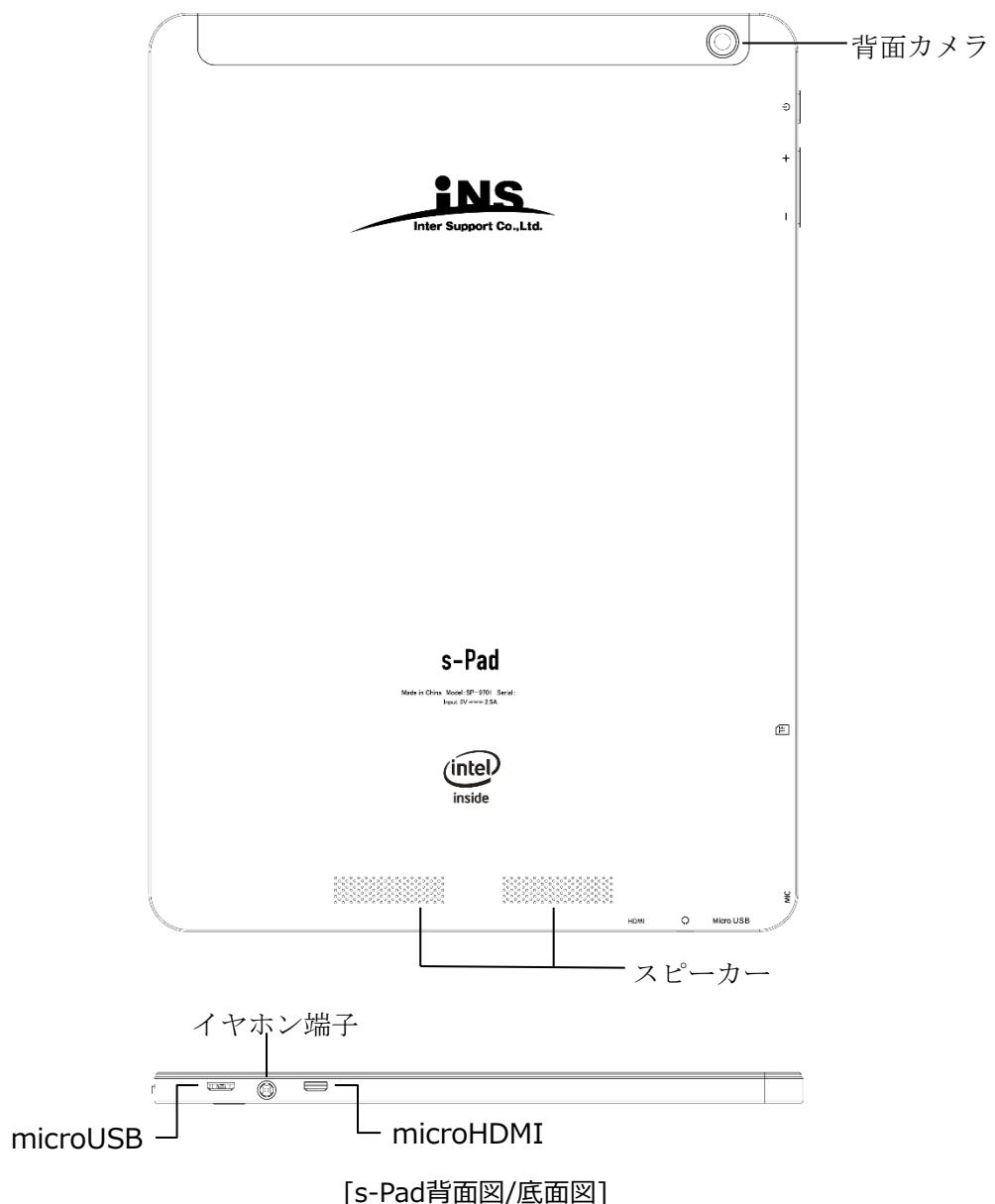
G-scan Tab を使用するにあたって

**s-Pad ハードウェア配置 – 前面/側面**

[s-Pad前面図/側面図]

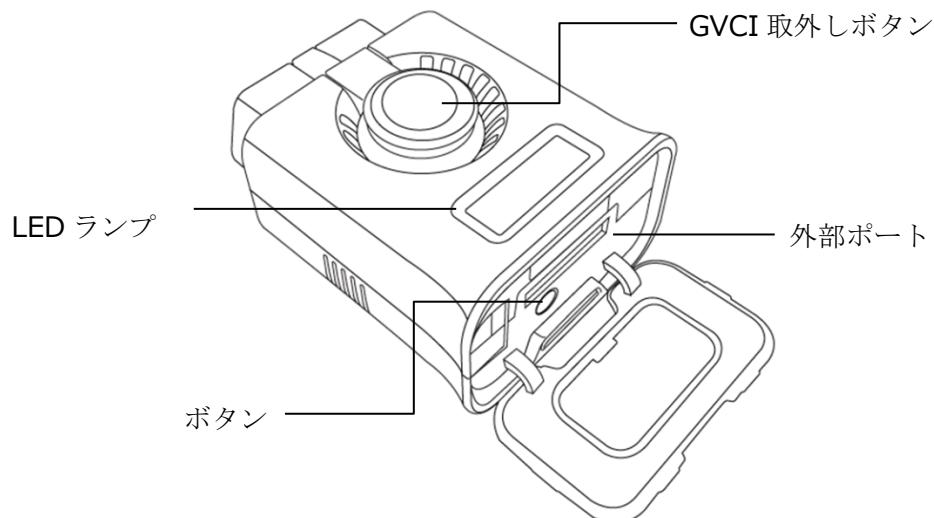
各部の名称	機能
電源ボタン	s-Pad の電源を ON-OFF する際に使用します。
音量ボタン	スピーカー音量を調整するためのボタンです。
microSD カードスロット	最大 128GB の microSD,microSDHC,microSDXC が使用できます。
前面カメラ	タブレット前面で映像や画像を記録します。
マイク	音声を記録する際に使用します。

## s-Pad ハードウェア配置 – 背面/底面



各部の名称	機能
背面カメラ	タブレット背面で映像や画像を記録します。QRコードの読み取りに使用します。
スピーカー	音声を出力します。
microUSB	充電時またはUSB機器を接続します。
microHDMI	映像や音声を他の機器に出力する際に使用します。
イヤホン端子	音声を他の機器に出力する際に使用します。

## GVCI本体 ハードウェア配置



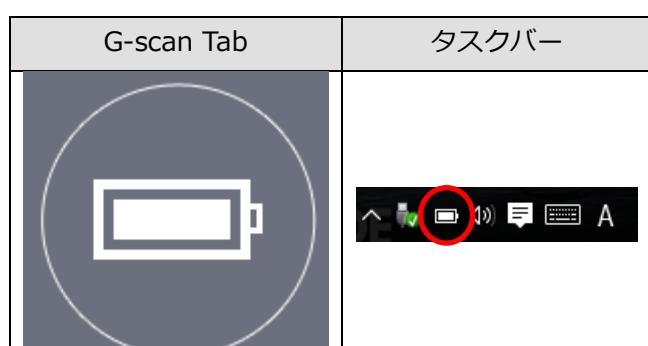
[GVCI本体図]

各部の名称	機能
GVCI取外しボタン	GVCIを車両から取外す際に使用します。
LEDランプ	GVCIの状態を表示します。 青点灯：s-Padと接続待機 青点滅：s-Padと接続完了 緑点滅：車両と通信中 黄点灯：ファームウェア更新中
外部ポート	※現在は使用しません
ボタン	※現在は使用しません

## G-scan Tab を使用するにあたって

s-Padにはバッテリーが内蔵されており、外部から電源を供給しない状態でも使用することが可能です。外部電源を使用せずに本体のバッテリーのみで作業している時は、G-scan Tabの画面左上にあるバッテリーアイコン、もしくはタスクバーにあるアイコンでバッテリー残量の確認ができます。バッテリー残量が少なくなった際は弊社指定の外部電源からバッテリーを充電してください。

※バッテリー残量が10%以下になるとシャットダウンすることがあります。



[バッテリーアイコン]

**警告**

s-Padを充電する際は必ず弊社指定の外部電源から行ってください。

弊社指定の外部電源は専用のものです。他の製品には使用しないでください。

外部電源は確実に接続し、強い力を加えないでください。

**注意**

バッテリーは長期間放置しますと自己放電を行って不活性状態になります。再び活性状態に戻すには 2~3回の充電と使用を繰り返してください。また、長期保管前にはバッテリーの劣化を防ぐ為、満充電状態にして直射日光の当らない乾燥した涼しい場所に保管してください。

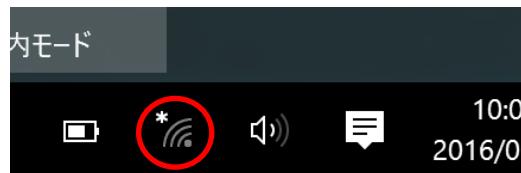
G-scan Tab を使用するにあたって

### Wi-Fiと接続する

G-scan TabはWi-Fiと接続することにより、ソフトウェアアップデートや開発ログの送信が可能になります。

以下の手順を参照し、Wi-Fiと接続してください。

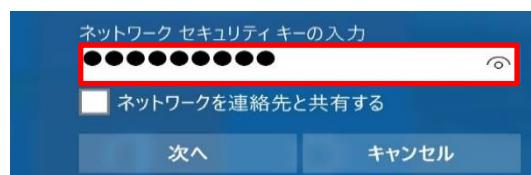
- タスクバーにある無線LANのアイコンを選択してください。



- 上にネットワーク名（SSID）が表示されますので利用する無線LAN親機のSSIDを選択してください。
- ネットワーク名（SSID）を選択すると接続ボタンの表示が出てくるので「接続」を選択してください。  
※今後選択した親機の電波を受信した際に自動的に接続するように設定したい場合、「自動的に接続」にチェックを入れてください。



- ②で選択した親機のネットワークセキュリティキーを入力し「次へ」を選択、接続済みの表示が出てきたら作業は完了となります。



## G-scan Tab を使用するにあたって

GVCIを車両側の診断コネクターに接続します。車両側の診断コネクターから電源が供給されない場合、車両側の診断コネクターが入り組んだ位置にありGVCIの接続ができない場合などは付属のGVCI延長ケーブルをお使いください。

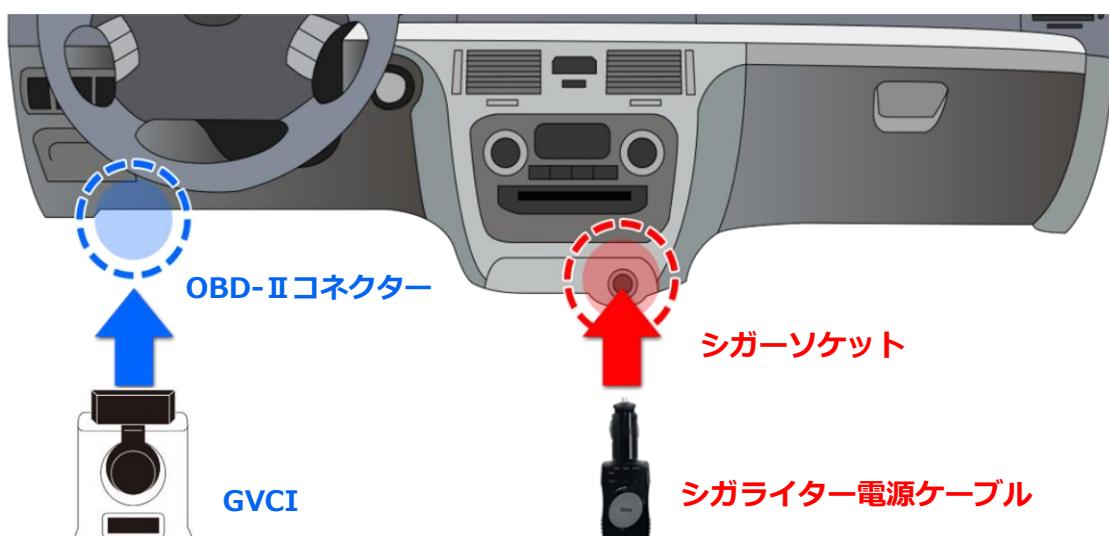
- 診断コネクターから電源を供給する。
- シガライターソケットから電源を供給する。

## 診断コネクターから電源を供給する

1. GVCIを車両側の診断コネクターに接続します。  
イグニッションキーがオフであっても、診断コネクターから電源が供給されます。(通信するためにはイグニッションキーをオンにする必要があります)
2. OBD-II / E-OBD / J-OBD-IIに準拠した車両は、診断コネクターから電源を供給するように設計されています。

## シガライターソケットから電源を供給する

1. GVCIに付属のGVCI延長ケーブルを接続します。
2. シガライター電源ケーブルをGVCI延長ケーブルのDC入力ポートに接続してください。
3. シガライター電源ケーブルを車両側シガーソケットに挿入します。
4. イグニッションキーをACCまたはONの位置にすると、GVCIに電源が供給されます。



※イメージ画像です。車両側のコネクター位置、シガーソケット位置は車両によって異なります。

### 3. G-scan Tab 基本機能

3.1. メインメニューとシステムツール	27
メインメニュー	27
ヘッダー	27
メイン機能	29
Bluetoothペアリング設定	32
開発ログ	38
3.2. 保存データ	43
保存データ	43
データタイプ	44
イメージビューアー	44
レコードビューアー	45
3.3. 車両診断	47
車両診断について	47
メーカー選択	48
診断機能	53
OBD-II診断	67

## G-scan Tab 基本機能

## メインメニュー

メインメニューはヘッダー、メイン機能、サブ機能、ボトムメニューの4つで構成されています。



## ヘッダー

ヘッダーは以下の情報を表示します。

アイコン	名前	説明
	バッテリー	<p>バッテリーの充電状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> : 電池残量低下</li> <li> : 充電完了</li> <li> : 電池残量レベル (バッテリー電源で動作中)</li> </ul>
	ボリューム	<p>音量レベルを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> : 音量ミュート以外</li> <li> : 音量ミュート</li> </ul>

	Bluetooth	Bluetooth 接続状態を表示します。  : Bluetooth 未接続  : Bluetooth 接続
2016/01/12 11:08	年月日・時刻	現在の年月日・時刻を表示します。
	カメラボタン	表示画面を保存する際に使用します。
	バックボタン	ひとつ前のステップに戻る、または実行中の機能を中止します。
	ホームボタン	メインメニューにもどります。
	開発ログ	開発ログ取得中に表示します。
	電源	診断ソフトを終了します。 ※s-Pad の電源ではありません。

## メイン機能



[メイン機能]

アイコン	名前	説明
	保存データ	保存データ、画面データなど記録されたデータファイルを閲覧します。
	OBD-II 診断	ISO9141-2、ISO14230-4<KWP2000>、SAE J1850 VPW、SAE J1850 PWM、ISO15765-4(CAN)規格に準拠するOBD-II / E-OBD / JOBD-II 診断ができます。
	車両診断	自己診断、作業サポート、データ表示、アクティブテスト、識別情報表示など、メーカー固有の診断機能を実行します。
	本体設定	ソフトウェアのバージョン情報の確認、様々なユーザー設定を表示、変更します。
	ユーザーガイド	かんたん操作ガイド・整備技術情報を閲覧します。
	ソフトウェアアップデート	Wi-Fi(無線LAN)を使用してソフトウェアをアップデートします。

## 1. ユーザーガイド

かんたん操作ガイドと各メーカーの整備技術情報を閲覧することができます。

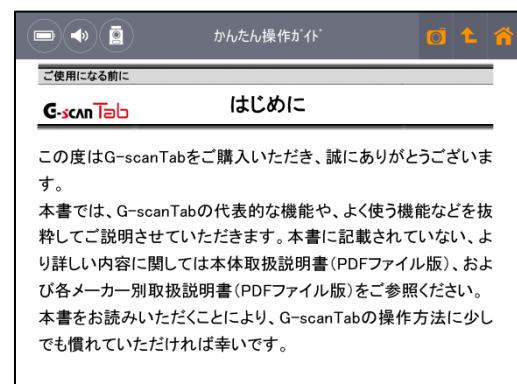


### かんたん操作ガイド

G-scan Tab の基本的な操作方法や、代表的な機能を抜粋して記載したものです。



[かんたん操作ガイド]



[かんたん操作ガイド表示画面]

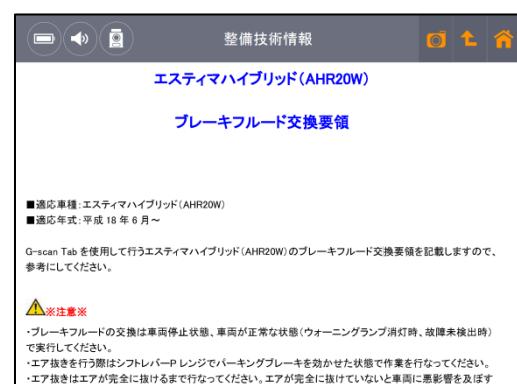
### 整備技術情報

各メーカーの作業手順を閲覧することができます。

※整備技術情報は特に重要な作業に限定して記載しています。随時更新される予定です。



[整備技術情報]



[整備技術情報表示画面]

## 2. 本体設定

G-scanTab の設定を確認・変更することができます。



[本体設定]

### バージョン

シリアル番号および本体構成部品のソフトウェアバージョン、インストールされた診断ソフトのバージョンなどの確認ができます。



[本体設定 - バージョン]

## Bluetooth

GVCIの接続状況が確認できます。

※GVCIのペアリング方法は、下記を参照してください。



[本体設定 - Bluetooth]

## Bluetoothペアリング設定

Bluetoothのペアリングとは、Bluetoothで通信を行う機器同士を接続する機能です。

ここではG-scan Tab(s-Pad)とGVCIとのペアリング設定方法になります。

Bluetoothは電波で通信を行うため、近くにいる無関係な機器と通信してしまわないよう、通信可能な機器のうちどれに接続するかを決める手順が必要となります。

一度ペアリングを行なったG-scan Tab(s-Pad)とGVCIは次回使用時には自動的に接続されます。

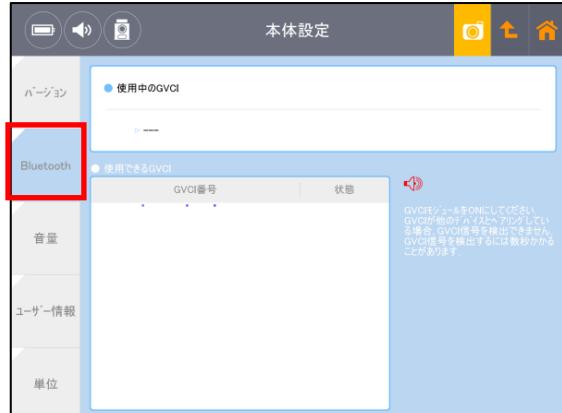
### 1. Bluetoothペアリング設定方法

① 初期画面の本体設定を選択します。

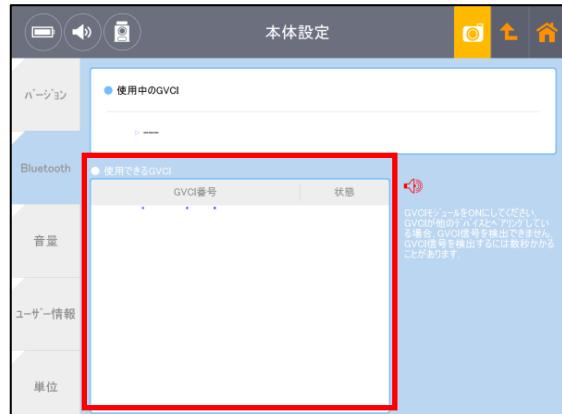
※GVCIに電源を供給させるため車両に接続してください。



② 画面左側の[Bluetooth]を選択します。



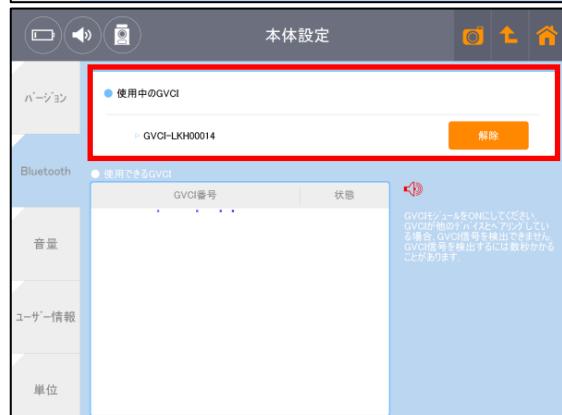
③ 画面下部の[使用できるGVCI]に接続可能なGVCIが表示されますので、選択します。



④ ペアリング中です。G-scan Tab(s-Pad)、GVCIをなるべく近くに設置し、しばらくお待ちください。



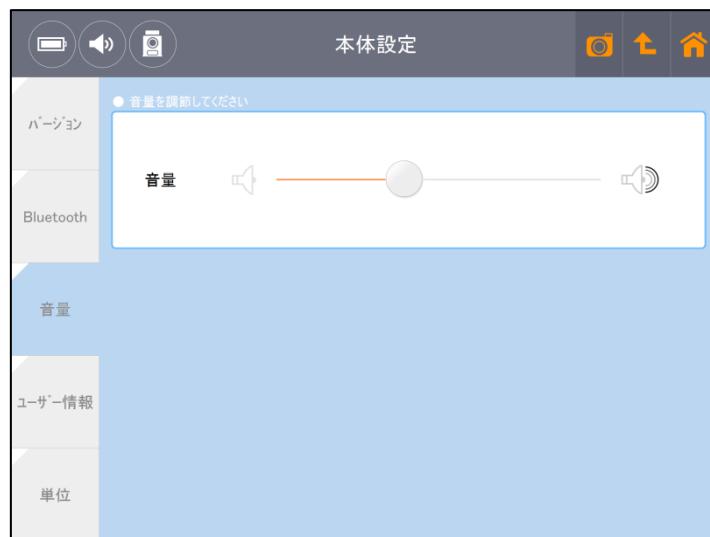
⑤ 画面上部に[使用中のGVCI]に接続済みのGVCIが表示されます。



## 音量

内蔵スピーカーのボリュームを変更します。

ボリュームを最小にすると、ヘッダーに表示された音量のアイコンがミュートに変わります。



[本体設定 - 音量]

## ユーザー情報

本体に所有者を登録することができます。



[本体設定 - ユーザー情報]

## 単位

車両診断時のデータ表示に使用する測定単位を変更します。



[本体設定 - 単位]

### 3. ソフトウェアアップデート

Wi-Fi(無線 LAN)を利用して、アップデートサーバーから利用可能な更新ファイルをダウンロードします。



[ソフトウェアアップデート]

- 1) Wi-Fi(無線LAN)に接続し、初期画面のソフトウェアアップデートを選択する。
- 2) 最新バージョンを確認する。

ソフトウェアのメーカー、現在のバージョン、アップデートバージョン、ダウンロードに必要な容量が表示されます。タブレット内にメーカーのデータが無いとき、またはインストールされているバージョンが古いときは、[New]アイコンで表示されます。



[更新できる最新バージョンを確認する]

### 3) アップデートを実行する

画面下側に表示されたアップデートボタンを選択し、アップデートを行います。



[進行画面]

ソフトウェアアップデートが完了したら[OK]ボタンを選択してください。

## 開発ログ

G-scan Tab本体と車両の通信状態を記録する機能です。

主に、本体と車両の通信ができない・診断内容に不備があるなど、G-scan Tab側の不具合が疑われる通信情報を記録して送信してください。その情報をもとに弊社でデータの分析をおこない、お客様にご回答いたします。

### 1. 開発ログを記録する

#### 1) 開発ログの開始

例: TOYOTA プリウスのシステムで通信不能



- ① 録したい車種・システム選択画面で[開発ログ]ボタンを押します。



- ②[開発ログ 記録開始]ボタンを押します。



③確認画面が表示されます。[OK]ボタンを押します。



④画面左上にアイコンが表示され、開発ログの記録ができるようになります。



## 2) 車両診断：開発ログの記録

①分析を依頼したい通信を再度実行してください。

※必ず下記の手順「開発ログの終了：開発ログの記録

完了」まで進めてください。



## 3) 開発ログの終了：開発ログの記録完了

①車種・システム選択画面まで戻り、[開発ログ]ボタンを押します。



② [開発ログ 記録終了]ボタンを押します。



③ 認画面が表示されます。[OK]ボタンを押します。



④ データを保存します。

開発ログの種類を選択、メモ・ファイル名を入力し[OK]ボタンを押すと終了します。



⑤ 発ログの記録が完了し、画面左上のアイコンが消えます。



## 2. Wi-Fiで開発ログを送信する

※開発ログの送信にはWi-Fi接続が必要になります。

### 1) Wi-Fi の接続状態の確認

①Wi-Fi ネットワーク状態が接続済みであることを確認します。

※Wi-Fi ネットワークの設定方法は本書 ([2.5 Wi-Fi と接続する](#))

を参照してください。

### 2) 開発ログの送信

①車種・システム選択画面の[開発ログ]ボタンを押します。



②[開発ログ一覧]ボタンを押します。

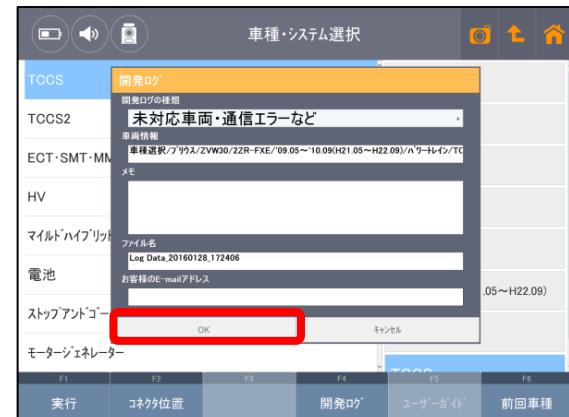


③送信したいデータの□部分にチェックマークを付け、[送信]ボタンを押してください。

※「記録日」欄に開発ログの送信日、「状態」欄にデータのステータス(保存済み/送信済み)が表示されます。



- ④メモとお客様の E-mail アドレスを入力してください。  
 [OK]ボタンを押すと送信が開始されます。  
 ※空欄があると[OK]ボタンを選択することができません。



- ⑤「状態」が「送信済み」になったことを確認してください。  
 ※弊社にて開発ログの確認ができ次第、ご入力いただいた E-mail アドレスに返信いたします。  
 ※E-mailアドレスの入力に誤りがあった場合、回答ができない場合がございますのでご注意ください。



## G-scan Tab 基本機能

## 保存データ

メインメニューから[保存データ]を選択すると、保存されたスクリーンキャプチャー、保存データを表示することができます。



[メインメニュー - 保存データ]

## データタイプ

メインメニューから保存データを選択すると、本体のタブレット内に保存されているファイルの一覧が表示されます。記録されたデータファイルの種類は、画面の右側に表示されます。

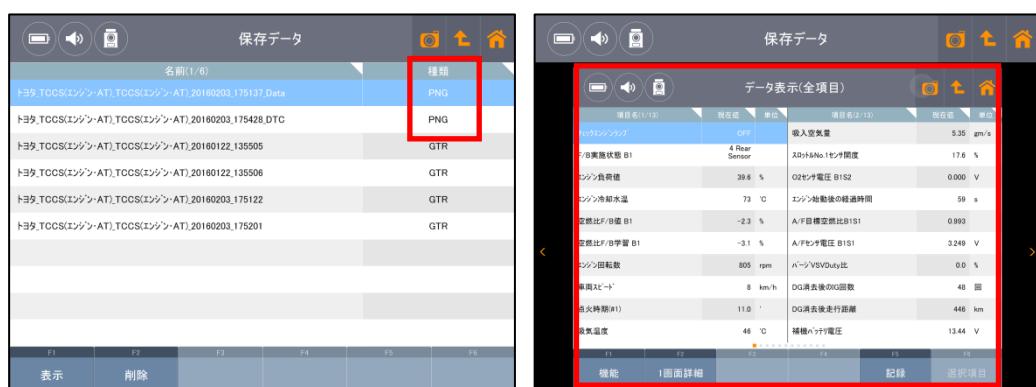
- PNG：スクリーンキャプチャー機能を使用して保存した画像ファイル
- GTR：データ表示機能で保存されたレコードファイル



[保存データ]

## イメージビューアー

[PNG]を選択して、画面左下の[表示]ボタンを押すと、画像ファイルが表示されます。



[イメージビューアー]

## レコードビューアー

[G T R]を選択して、画面左下の[表示]ボタンを押すと、データ表示機能で保存したデータを数値で表示します。(テキストモード)画面右下の[グラフ]を押すとグラフで表示します。(グラフモード)

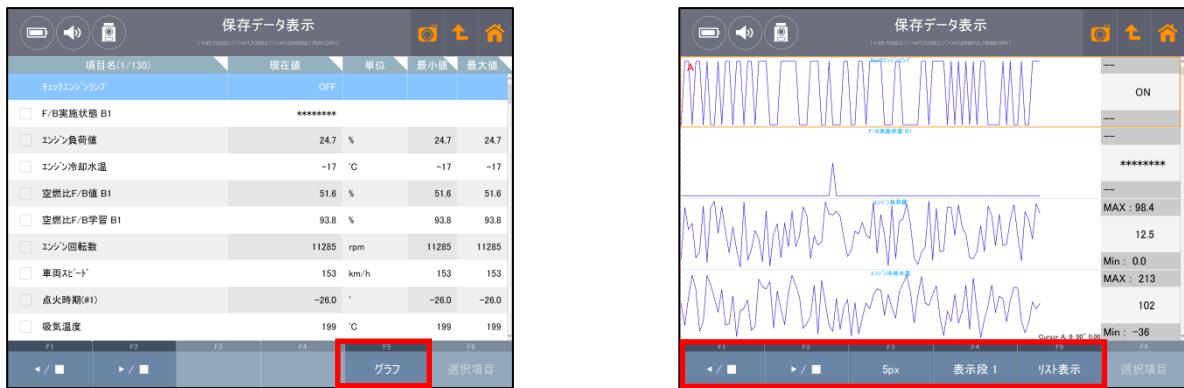
### 1. テキストモード



[レコードビューアー - テキストモード]

コントロールボタン	説明
	記録データを巻き戻し / 早送りします。
	グラフモードに切り替えます。

## 2. グラフモード



[レコードビューアー - グラフモード]

コントロールボタン	説明
F1 ◀ / ■	記録データを巻き戻し / 早送りします。
F2 ▶ / ■	
F3 5px	グラフサイズが変更できます(1px -> 5px -> 15px)。
F4 表示段 1	表示されるグラフ数を変更することができます。
F5 リスト表示	テキストモードに戻ります。

### G-scan Tab 基本機能

#### 車両診断について

メインメニューから[車両診断]を選択すると、自己診断、データ表示、アクティブテスト、作業サポートなどメーカー独自の診断機能を実行できます。



[車両診断画面]

## メーカー選択

### 1. 全メーカー

メインメニューから[車両診断]を選択すると、対応している自動車メーカーが一覧表示されます。(下図参照)

全メーカー	トヨタ	日産	ホンダ	スバル
国産乗用車	マツダ	スズキ	三菱	レクサス
トラック・バス	いすゞ	日野	三菱ふそう	UDトラックス
輸入乗用車	AUDI	VOLKSWAGEN	MERCEDES BENZ	BMW
その他	MINI	CHEVROLET	GM USA	CHRYSLER
QRコードの読み取り				
五十音順				

[車両診断 - 全メーカー]

通信した履歴順にメーカーが表示されます。そのため、頻繁に使用するメーカーが上位に表示され、あまり使用されないメーカーは一覧の下位に表示されます。

### 2. 種類別

自動車メーカーを4つの種類に分けて一覧表示します。

#### 国産乗用車

トヨタ、レクサス、日産、ホンダ、スバル、三菱、マツダ、スズキ、ダイハツが表示されます。

#### トラック・バス

三菱ふそう、日野、いすゞ、UDトラックスが表示されます。

#### 輸入乗用車

BENZ、BMW、MINI、AUDI、VOLKSWAGEN、VOLVO、MINI、OPEL、FORD、CHRYSLER、DODGE、JEEP、CHEVROLET、RENAULT、PEUGEOT、ALFA ROMEO、FIAT、LANCIA、GM USA、LANDROVER、PROTON、SEAT、SKODA が表示されます。

#### その他

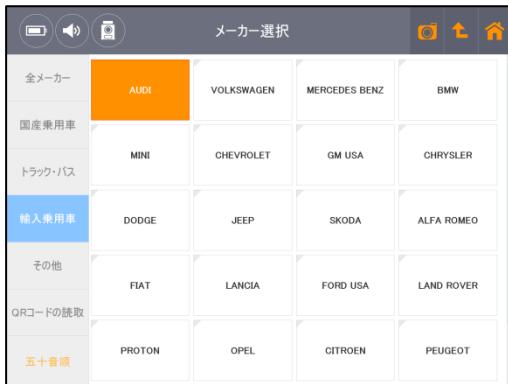
デモソフト、または正式にリリースされていない試用版が表示されます。



[車両診断 - 国産乗用車]



[車両診断 - トラック・バス]



[車両診断 - 輸入乗用車]



[車両診断 - その他]

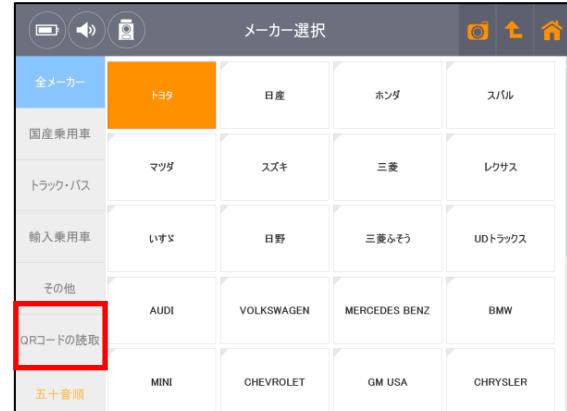
### 3. QRコードの読み取り

背面カメラを使用し、自動車検査証（車検証）の右下に記載されたQRコードを読み取り車種選択を自動で行う機能です。

#### 1) QRコードの読み取り

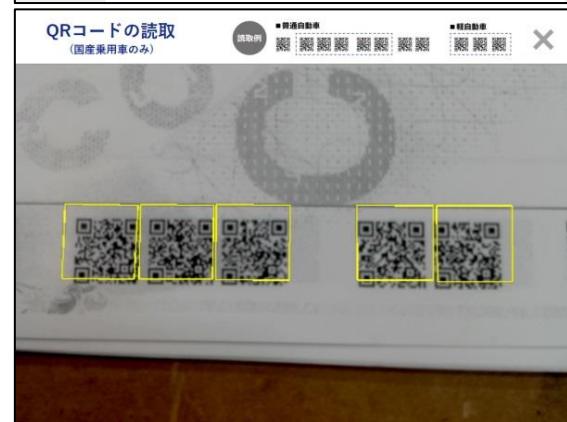
- ① メーカー選択画面の左下にある

[QRコードの読み取り]を選択します。



- ② QRコード読み取り用のアプリが起動します。

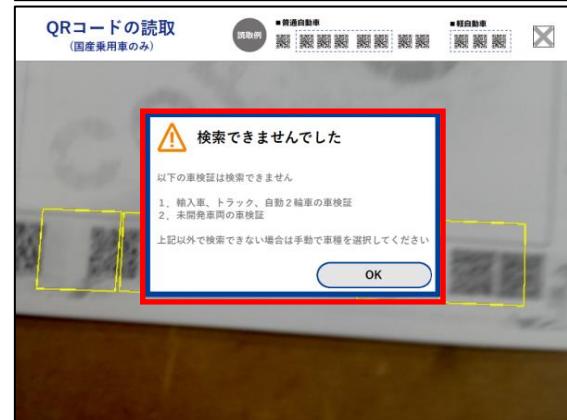
車検証右下部の[QRコード]を接写すると  
黄色枠が表示されますので、合わせてください。



- ③ 車種情報が読み取れない場合には、

エラーメッセージが表示されます。

※輸入車、トラック、自動二輪車などは未対応になっております。



- ④ QRコードに記載された車両情報が表示されます。

※原動機の過給機付/無などは記載されておりませんので、その場合は右のように複数表示されます。



- ⑤ 画面右部に読み取った車両情報が表示されますので診断するシステムを選択してください。



#### 4. システムサーチ

システム選択メニューから[システムサーチ]を選択すると、全システムの点検を行います。車両に搭載された全システムと通信し、車両に搭載されているシステムを一覧表示します。



[システムサーチ]

## オールダイアグ機能

システムサーチ実行中に車載コンピューター(以下、ECU)から読み込んだ故障コードの数をシステムごとに表示します。

システム(1/10)	コード数
★エンジン	4
★AT-CVT	0
★ABS(アンチロックブレーキシステム)	1
★VSA(ビーグルスピリティアシスト)	1
★SRSエアバッグ	0
イモビライザー・プッシュスタート	->
★IMA	0
★EPS	0
EVPS	0
ホーティー	->

[システムサーチ - 診断結果]

故障コード読み取りおよび消去に対応していないシステムがあります。また、一度に全システムの故障コードを読み取れない場合があります。このような場合、下の表にある記号が表示されます。

記号	説明
-	システムが故障コード読み取りに対応していません。
->	個別にシステム通信をする必要があります。メニューからシステムを選択し、故障コード読み取りを行ってください。

## 診断機能

診断機能は、自己診断、データ表示、保存データ表示、アクティブテスト、作業サポート、識別情報表示の6項目で構成されています。この他にも、メーカー独自の診断機能が備わっている場合があります。(例: 日産「CAN診断サポートモニター」など)

システムによって一部対応していない機能があります。(例: SRSエアバッグにはアクティブテストに対応していないものが多くあります。) 詳細については、アップデートと同時にリリースされるシステムの対応一覧表を参考にしてください。



[車両診断 - システム選択後]

## 1. 自己診断

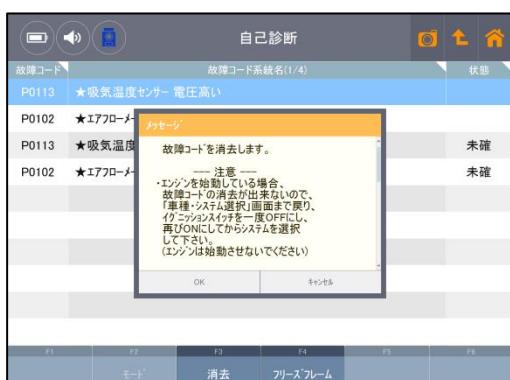
### 故障コード(DTC読み込み)および消去

ECUに記憶されている故障コード(DTC)の読み込みおよび消去を実行するのに使用します。

故障コード	故障コード系統名(1/4)	状態			
P0113	★吸気温度センサー 電圧高い				
P0102	★エアフローメーター 電圧低い				
P0113	★吸気温度センサー 電圧高い	未確			
P0102	★エアフローメーター 電圧低い	未確			
F1	F2	F3	F4	F5	F6
モード	消去	リーズ'フレーム			

[自己診断画面]

故障コードをECUのメモリーから消去するには[消去]ボタンを選択してください。



[自己診断 - 消去確認メッセージ]



[自己診断 消去後画面]

## フリーズフレーム

フリーズフレームデータとは、ECUに故障コードが検出されたときに記録されるデータのことです。このデータには故障コードが検出された時のセンサーの値が記録されており、故障部位の探究に役立ちます。フリーズフレームデータを表示するには[フリーズフレーム]ボタンを選択してください。

一覧のからフリーズフレームデータを選択するとフリーズフレームデータが表示されます。



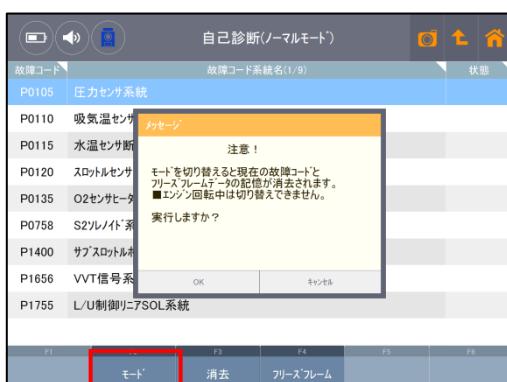
[フリーズフレーム 選択画面]

P0113 ★吸気温度センサー 電圧高い	
エンジン回転数	0 rpm
スロットル開度センサー	18 %
相対スロットル開度センサー	8 %
水温センサー	0.76 V
水温センサー	81 °C
吸気温度センサー	5.00 V
吸気温度センサー	-40 °C
吸気圧力センサー	2.88 V
吸気圧力センサー	100 kPa
大気圧センサー	2.90 V

[フリーズフレーム データ画面]

## メーカー独自の自己診断機能

一部のメーカーでは独自の自己診断機能があります。(例:トヨタにはノーマルモード、チェックモードの2つの自己診断機能があります)



[切替え注意メッセージ]



[チェックモード]

## 2. データ表示

データ表示はメーカーによってデータ表示、データリスト、データモニター、パラメーターとも呼ばれ、ECUの入力 / 出力値データを示す診断機能です。

[データ表示]を選択すると、下図のようにデータの一覧がリアルタイムに表示されます。



項目名(1/7)	現在値	単位	項目名(2/7)	現在値	単位
水温センサー	95	°C	空燃比補正値(ハンク1)	101	%
車速センサー	0	km/h	空燃比補正値(ハンク2)	98	%
バッテリー電圧	14.2	V	空燃比学習値(ハンク1)	103	%
吸気温度センサー	40	°C	空燃比学習値(ハンク2)	98	%
点火時期	12	BDTC	点火時期補正値	0	°
キヤニスターCONT S/V	0.0	%	アイドル回転補正値	0.0	rpm
O2センサー(ハンク1)	0.66	V	VTC角度	1	°CA
O2センサー(ハンク2)	0.30	V	VTC駆動(ハンク1)	0.0	%
リリオ2センサー(ハンク1)	0.34	V	VTC駆動(ハンク2)	0.0	%
リリオ2センサー(ハンク2)	0.34	V	O2センサー ヒーター	50	%

[車両診断 - システム選択後]

[データ表示画面]

### [1画面詳細/2画面表示]

画面左下にある[1画面詳細]ボタンを選択すると、最大10項目のデータが一覧表示され、長い項目名にも対応できる1画面モードに切り替わります。[2画面表示]ボタンを選択すると画面を二分割し最大20項目のデータを表示する2画面表示に切替わります。

項目名(1/7)	現在値	単位	項目名(2/7)	現在値	単位
水温センサー	95	°C	空燃比補正値(ハンク1)	101	%
車速センサー	0	km/h	空燃比補正値(ハンク2)	98	%
バッテリー電圧	14.2	V	空燃比学習値(ハンク1)	103	%
吸気温度センサー	40	°C	空燃比学習値(ハンク2)	98	%
点火時期	12	BDTC	点火時期補正値	0	°
キヤニスターCONT S/V	0.0	%	アイドル回転補正値	0.0	rpm
O2センサー(ハンク1)	0.66	V	VTC角度	1	°CA
O2センサー(ハンク2)	0.30	V	VTC駆動(ハンク1)	0.0	%
リリオ2センサー(ハンク1)	0.34	V	VTC駆動(ハンク2)	0.0	%
リリオ2センサー(ハンク2)	0.34	V	O2センサー ヒーター	50	%

[2画面表示]

項目名(1/65)	現在値	単位	最小値	最大値
点火時期補正値	0	°	0	0
アイドル回転補正値	0.0	rpm	0.0	0.0
VTC角度	1	°CA	1	2
VTC駆動(ハンク1)	0.0	%	0.0	0.0
VTC駆動(ハンク2)	0.0	%	0.0	0.0
O2センサー ヒーター	40	%	40	40
VTC角度 IN(ハンク2)	1.5	°CA	1.5	2.5
エンジン回転数	650	rpm	625	650
エアフローメーター(ハンク1)	1.08	V	1.08	1.08
噴射ハルス(ハンク1)	2.13	ms	2.13	2.22

[1画面詳細]

## [機能]

最小値 / 最大値を表示、非表示、リセット、またTC端子を ON / OFF切替するには、[機能]ボタンを選択してください。TC端子とは、故障コードを確認するときに短絡させる端子です。

データ表示(全項目)					
項目名(1/11)	現在値	単位	項目名(2/11)	現在値	単位
チェックエンジンランプ	ON		吸気温度	-40	°C
エミッション故障コード数	14		吸入空気量	0.68	g/sec
F/B実施状態 B1				100.0	%
エンジン負荷値				0.000	V
エンジン冷却水温				NO OBD	
空燃比F/B値 B1				0	s
空燃比F/B学習 B1				1.000	
エンジン回転数				3.296	V
車速	0	km/h	DG消去後のIG回数	0	回
点火時期(#1)	5.0	'	DG消去後走行距離	0	km
F1	F2	F3	F4	F5	F6
機能	1画面詳細	参考値		記録	選択項目

[データ表示 - 機能]

データ表示(全項目)					
項目名(1/65)	現在値	単位	最小値	最大値	
点火時期補正值	0	'	0	0	
アイドル回転補正值	0.0	rpm	0.0	0.0	
VTC角度	1	'CA	1	2	
VTC駆動(バンク1)	0.0	%	0.0	0.0	
VTC駆動(バンク2)	0.0	%	0.0	0.0	
O2センサー ヒーター	40	%	40	40	
VTC角度 IN(バンク2)	1.5	'CA	1.5	2.5	
エンジン回転数	650	rpm	625	650	
エアフローメーター(バンク1)	1.08	V	1.08	1.08	
噴射パルス(バンク1)	2.13	ms	2.13	2.22	
F1	F2	F3	F4	F5	F6
機能	2画面表示	参考値	グラフ	記録	選択項目

[データ表示 - 最大最小値表示]

## [参考値]

参考値ボタンを押すと、車両の参考値を表示します。

データ表示(全項目)					
項目名(1/65)	現在値	単位	最小値	最大値	
点火時期補正値	0	rpm	0	0	
アイドル回転補正値	0.0	'CA	0.0	0.0	
VTC角度	1	'CA	1	2	
VTC駆動(バンク1)	0.0	%	0.0	0.0	
VTC駆動(バンク2)	0.0	%	0.0	0.0	
O2センサー ヒーター	40	%	40	40	
VTC角度 IN(バンク2)	1.5	'CA	1.5	2.5	
エンジン回転数	650	rpm	625	650	
エアフローメーター(バンク1)	1.08	V	1.08	1.08	
噴射バルス(バンク1)	2.13	ms	2.13	2.22	

データ表示(全項目)					
項目名(1/11)	現在値	単位			
チェックエンジンランプ	-40	'C			
エミッション故障コード数	0.68	g/sec			
F/B実施状態 B1	100.0	%			
エンジン負荷値	0.000	V			
エンジン冷却水温	NO OBD				
空燃比F/B値 B1	0	s			
空燃比F/B学習 B1	1.000				
エンジン回転数	3.294	V			
車速	0	km			
点火時期(#1)	OK				

[参考値表示画面]

## [グラフモード]

[グラフ]ボタンを選択すると、データの表示方法がテキスト表示からグラフ表示モードに切替わります。

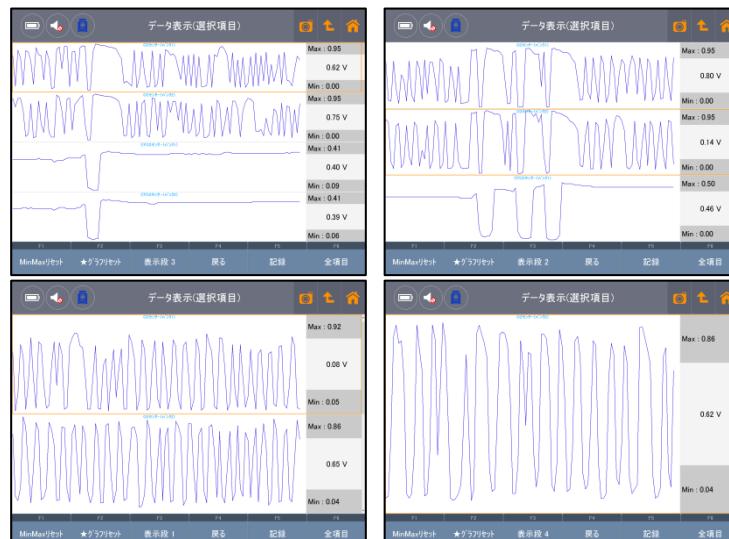


[グラフモード]

オートスケール機能を搭載しているので、最小値 / 最大値を基準にして画面に収まるようにグラフが自動的に調整されます。

## [表示段]

画面上に表示されるグラフの数を切替えます。ボタンを選択するごとに表示が切替わります。



[グラフ数表示切替え]

## [戻る]

グラフモードを終了し、テキストモードに戻ります。

## [記録]

[記録]ボタンを選択すると、データの記録・保存を行います。下図画面で、[単一記録]もしくは[連続記録]のどちらかを選択してください。

- 単一記録

1サンプル分のデータを記録します。

- 連続記録

連続したサンプルのデータを記録します。最大記録時間は60分です。

The screenshot shows the 'Data Display (All Items)' screen. A red box highlights a central dialog box with two options: 'Single Recording' (单一記録) and 'Continuous Recording' (連続記録). Below the dialog are buttons for 'Close' (閉じる), '0.00' (with a down arrow), '0.05', '0.05', and '0.83'. At the bottom are function keys F1 through F6 and buttons for 'Function', 'Two-Panel Display', 'Reference Value', 'Graph', 'Recording', and 'Selection Item'.

項目名(4/65)	現在値	単位	最小値	最大値
水温センサー	95	°C	88	95
車速センサー	0	km/h	0	0
バッテリー電圧			12.8	14.1
吸気温度センサー			58	60
点火時期			14	17
キャニスターCONT S/V			0.0	0.0
O2センサー(バンク1)			0.05	0.83
O2センサー(バンク2)	0.00	V	0.05	0.83
リアO2センサー(バンク1)	0.49	V	0.47	0.49
リアO2センサー(バンク2)	0.48	V	0.46	0.49

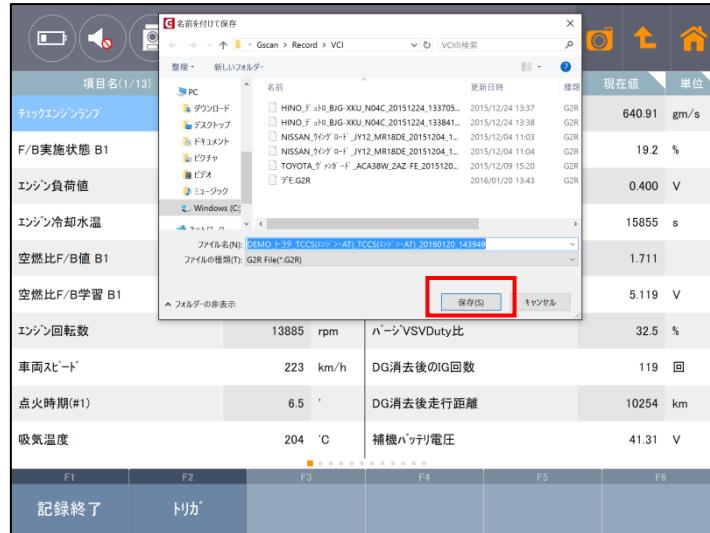
[データ記録]

The screenshot shows the 'Data Display (All Items)' screen during a recording session. A red box highlights the top status bar which displays '記録中 記録時間: 00 : 22 記録サンプル : 3'. Below the status bar is a table of sensor data. A second red box highlights the F2 key, which is labeled 'トリガ' (Trigger). At the bottom are function keys F1 through F6 and buttons for 'Function', 'Two-Panel Display', 'Reference Value', 'Graph', 'Recording', and 'Selection Item'.

項目名(4/65)	現在値	単位	最小値	最大値
水温センサー	88	°C	88	95
車速センサー	0	km/h	0	0
バッテリー電圧	14.0	V	12.8	14.1
吸気温度センサー	62	°C	58	60
点火時期	17	BDTC	14	17
キャニスターCONT S/V	0.0	%	0.0	0.0
O2センサー(バンク1)	0.07	V	0.05	0.85
O2センサー(バンク2)	0.38	V	0.05	0.83
リアO2センサー(バンク1)	0.48	V	0.47	0.49
リアO2センサー(バンク2)	0.48	V	0.46	0.49

[連続記録 - トリガ設定]

連続記録を終了するには[記録終了]を選択し、[保存(S)]を選択してデータを保存してください。



[連続記録 - データ保存]

### [選択項目]

1画面詳細モードに切り替え、データ一覧から項目名の左にあるチェックボックスにチェックを入れ、表示したい項目を選択します。右下にある[選択項目]を選択すると、選択した項目が画面に表示されます。  
項目数を減らすことにより表示速度が上がります。

データ表示(全項目)					
項目名(10/65)	現在値	単位	最小値	最大値	
<input checked="" type="checkbox"/> O2センサー(バンク1)	0.74	V	0.06	0.79	
<input checked="" type="checkbox"/> O2センサー(バンク2)	0.79	V	0.07	0.88	
<input checked="" type="checkbox"/> リFO2センサー(バンク1)	0.35	V	0.35	0.35	
<input checked="" type="checkbox"/> リFO2センサー(バンク2)	0.34	V	0.34	0.34	
空燃比補正値(バンク1)	101	%	98	102	
空燃比補正値(バンク2)	98	%	98	101	
空燃比学習値(バンク1)	104	%	104	104	
空燃比学習値(バンク2)	99	%	99	99	
点火時期補正値	0	-	0	0	
アトル回転補正値	0.0	rpm	0.0	0.0	
F1 機能	F2 2画面表示	F3 参考値	F4 グラフ	F5 記録	F6 選択項目

[データ項目選択]

データ表示(選択項目)					
項目名(1/4)	現在値	単位	最小値	最大値	
O2センサー(バンク1)	0.11	V	0.06	0.83	
O2センサー(バンク2)	0.84	V	0.12	0.88	
リFO2センサー(バンク1)	0.35	V	0.35	0.35	
リFO2センサー(バンク2)	0.35	V	0.34	0.35	
F1 機能	F2 2画面表示	F3 参考値	F4 グラフ	F5 記録	F6 全項目

[データ項目選択後]

### [全項目]

全項目モードに戻るには[全項目]を選択してください。

## 1. 保存データ表示

保存されたスクリーンキャプチャー、保存データを表示することができます。

詳しくは[3.2保存データ]を参照してください



[メインメニュー]



[車両診断 - 保存データ表示]

## 2. アクティブテスト

アクティブテストは、本体からECUを介してインジェクター、ファン、ソレノイドバルブなどアクチュエーターに信号を送り作動させる機能で、それらの部品および関連回路の動作を点検します。



[車両診断 - アクティブテスト]

- 1) 左上ウインドウでテスト項目を選択してください。右上ウインドウに表示される実施条件を確認し、車両が条件を満たしていることを確認してから画面左下にある[開始]ボタンを選択してください。

### 実施条件

実施条件をよく読み、テストを開始する前に右上ウインドウで指示されている通りに車両準備ができるていることを確認してください。条件が合わないとテストが正常に行われない可能性があります。



[アクティブテスト - 項目・テスト条件]

- 2) ボタンを使用しアクチュエーターのON / OFFまたは設定値の調整を行い、選択したアクチュエーターとECUの応答を画面下半分に表示されるデータで確認してください。



[アクティブテスト - データ表示]

- 3) [停止]ボタンを選択すると選択された項目のアクティブテストを終了します。

#### 対応するアクティブテスト項目について

対応しているアクティブテストはメーカー、型式によって、項目名や項目数は異なります。

### 3. 作業サポート

作業サポートとは、コーディング、リセット、補正、初期化、アダプテーション、プログラミングなどのサービスやメンテナンスに必要となる機能です。診断機能メニューから[作業サポート]を選択すると、その車両に対応する作業サポートが表示されます。

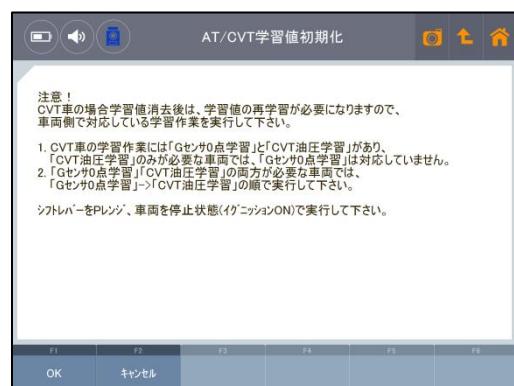


[車両診断 - 保存データ表示]

一覧の中から実行したい作業サポートを選択し、画面に表示される説明をよく読み、[OK]を押すと実行します。機能を中断するには[キャンセル]を押してください。



[作業サポート - 項目表示]



[作業サポート - 説明画面]

#### 対応する作業サポートについて

作業サポートはメーカーであらかじめ設定されており、メーカー、型式によって対応が異なります。

#### 実施条件

ステアリングホイールのセンターが合っていない、エンジンが完全に暖まっていない、パーキングブレーキが入っていないなどの状態でも、条件から外れていれば正常に終了しません。実施条件をよく読み、テストを開始する前に画面で指示されている通りに車両の準備ができていることを確認してください。

#### 4. 識別情報表示

ECUパート番号およびECUの識別情報を取得します。取得できる情報は、メーカー・車両モデルによって異なります。



[車両診断 - 保存データ表示]



[識別情報表示]

## OBD-II診断

OBD-II診断では、ISO9141-2、ISO14230-4<KWP2000>、SAE J1850 VPW、SAE J1850 PWM、ISO15765-4(CAN)規格に準拠するOBD-II / E-OBD / JOBD-II診断ができます。

オンボード診断は自動車の排出ガス制御システムの誤動作や故障を点検するための機能です。OBDシステムは排気制御システムに破損または不具合が生じたときに警告灯を点灯させドライバーの注意を促します。

OBD-IIは、OBDの改訂版として導入されました。ISOとSAEの工業規格に対応する車種の故障コード情報やデータを、メーカーに関係なく取得することができます。

GVCIを車両と接続し、[OBD-II診断]を選択します。



## 1. OBD-II故障コード

SAEおよびISO工業規格文書では、OBD-II、E-OBDおよびJ-OBD-IIコードは英数字の識別子で始まる3桁の数字から構成されます。識別子は、[P0～P3]、[B0～B3]、[C0～C3]、[U0～U3]で、それぞれパワートレイン、ボディ、シャーシ、ネットワーク通信システムに対応しています。

コード	システム	含まれるサブシステム(例)
P0*** ~ P3***	パワートレイン	エンジン、トランスミッション
C0*** ~ C3***	シャーシ	ABS、サスペンション、トラクションコントロール
B0*** ~ B3***	ボディ	エアバッグ、エアコン、ヘッドライト
U0*** ~ U3***	ネットワーク	CAN、内部システム通信

## 2. メーカー固有の故障コード

メーカーに関係なくOBD-II診断で表示される故障コードは、[標準コード]または[共通コード]と呼ばれます。

各メーカーで独自に割当てられているコードは、[メーカーコード]または[非標準コード]と呼ばれます。

[OBD-II / E-OBD / JOBD-II]機能でメーカーコード(もしくは非標準コード)が検知された場合は、各メーカーで異なる定義づけがされているため、本体では[故障コード不明]と表示されます。その場合、メインメニューの[車両診断]から車両メーカー、車種、型式、エンジン型式、年式、システムを選択し、診断を行ってください。

### 3. OBD-II / E-OBD / JOBD-II コードについて

標準コードとメーカーコードは以下のように分類されています。

コード番号	システム定義
P00XX	燃料 / 吸気系、補助排出制御装置
P01XX ~ P02XX	燃料 / 吸気系
P03XX	点火システムまたは失火
P04XX	補助排出制御装置
P05XX	車速、アイドリング制御、補助入力
P06XX	ECUおよび補助出力
P07XX ~ P09XX	トランスマッショーン
P0AXX	ハイブリッド
P0BXX ~ P0FXX	割当て済み(標準コード)
P1XXX	メーカーコード
P20XX	燃料 / 吸気系、補助排出制御装置
P21XX ~ P22XX	燃料 / 吸気系
P23XX	点火システムまたは失火
P24XX	補助排出制御装置
P25XX	車速、アイドリング制御、補助入力
P26XX	ECUおよび補助出力
P27XX ~ P29XX	トランスマッショーン
P30XX ~ P33XX	メーカーコード
P34XX	シリンダー
P35XX ~ P39XX	割当て済み(標準コード)
U00XX	ネットワークエレクトリカル
U01XX ~ U02XX	ネットワークコミュニケーション
U03XX	ネットワークソフトウェア
U04XX	ネットワークデータ

※ECU…車載コンピューター

#### 4. レディネスコード(履歴情報)

故障診断が正常に作動しているかを識別するための診断履歴を表示します。レディネスコードにより適正に故障診断が行なわれているか確認でき、今後の車検整備において重要な役割を果たします。

レディネスコード(履歴情報データ)							
項目名(1/13)	MID	現在値	単位				
<input type="checkbox"/> 燃料系モニタ	E8	テスト完了	-				
<input type="checkbox"/> 一般構成モニタ	E8	非対応	-				
<input type="checkbox"/> キャタライザモニタ	E8	テスト完了	-				
<input type="checkbox"/> ヒータ付キャタライザモニタ	E8	非対応	-				
<input type="checkbox"/> 蒸発ガス防止装置モニタ	E8	テスト完了	-				
<input type="checkbox"/> 2次空気導入装置モニタ	E8	非対応	-				
<input type="checkbox"/> 空調制御装置冷媒モニタ	E8	非対応	-				
<input type="checkbox"/> O2センサモニタ	E8	テスト完了	-				
<input type="checkbox"/> O2センサヒータモニタ	E8	テスト完了	-				
<input type="checkbox"/> 排気ガス再循環装置モニタ	E8	非対応	-				

[OBD-II 診断 - レディネスコード(履歴情報)]

#### 5. OBD-II / E-OBD / JOBD-II データ表示

OBD-II / E-OBD / JOBD-IIメニューから[02.データ表示]が選択すると、センサーヤアクチュエーターのデータを表示します。

データ表示							
項目名(1/22)	MID	現在値	単位				
<input checked="" type="checkbox"/> 燃料系1の状態	E8	CL-O2S 制御	-				
<input type="checkbox"/> 燃料系2の状態	E8	-	-				
<input type="checkbox"/> 負荷計算値	E8	2.7	%				
<input type="checkbox"/> エンジン冷却液温度	E8	88	°C				
<input type="checkbox"/> 短期燃料調量-バンク1	E8	-0.8	%				
<input type="checkbox"/> 長期燃料調量-バンク1	E8	-15.6	%				
<input type="checkbox"/> インテークマニホールド絶対圧	E8	57	kPa				
<input type="checkbox"/> エンジン回転数	E8	967	RPM				
<input type="checkbox"/> 車速	E8	0	km/h				
<input type="checkbox"/> 第1気筒進角点火タイミング	E8	2	'				

[OBD-II 診断 - データ表示]



## 警告

OBD-II診断に対応していないシステムを選択すると[未対応]と表示されます。(下図)

項目名(1/1)	MID	現在値	単位
未対応です			
F1	F2	F3	F4
	2画面表示		
			F5
			F6
			Select Item

## 4. 付属資料

4.1. 故障かな？と思ったら .....73

## 付属資料

G-scan Tab のトラブル症状、および主なエラーメッセージの対処方法について記載します。

症状/エラーメッセージ	原因と処置要領
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体に内蔵されているバッテリーの電池残量レベルが少なくなっている可能性があります。バッテリーの充電を行ってください。充電方法の詳しい内容については本書「<a href="#">2.4 s-Padの充電について</a>」をご参照ください。</li> </ul>
画面が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>s-Padがスリープモードになっている可能性があります。電源ボタンを押してください。</li> <li>電源が切れている可能性があります。電源ボタンを長押ししてください。</li> <li>本体に内蔵されているバッテリーの電池残量レベルが少ない可能性があります。バッテリーの充電を行ってください。</li> </ul>
Wi-Fiに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fiルータとの距離が離れすぎている可能性があります。Wi-Fiルータの近くで再度試してみてください。</li> <li>Wi-Fiルータの電源がオフになっている可能性があります。Wi-Fiルータの電源を確認してください。</li> <li>s-Padが機内モードになっている可能性があります。画面右端から指をスライドしアクションセンターを起動させ、機内モードがオンになっていないか確認してください。</li> <li>Wi-Fiに接続する際のSSID、セキュリティキーが間違っている可能性あります。SSID、セキュリティキーをご確認の上再度試してみてください。</li> </ul>
タッチパネルが正常に操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の画面に汚れ、ゴミなどが付着していないか確認してください。汚れやゴミが付着していると誤作動の原因になりますので、電源を切ってから柔らかい布でよく拭取ってから使用してください。</li> </ul>

G-scan Tabが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を切った後、再度電源を入れて動作を確認してください。</li> <li>画面左端から指をスライドしタスクビューを起動させ、G-scan Tabの右端にある「×」ボタンをタップして閉じてください。その後、G-scan Tabを再起動して動作するか確認してください。</li> </ul>
GVCIと接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体設定の画面よりGVCIとペアリングされているか確認してください。されているようであれば、一度ペアリングを解除し再接続を実行してください。ペアリング方法の詳しい内容については本書「<a href="#">Bluetoothペアリング設定</a>」をご参照ください。</li> <li>Windowsの設定でBluetoothがオンになっているか確認してください。</li> </ul>
G-scan Tabの画面に通信異常と表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>GVCIがしっかりと接続されているか確認してください。</li> <li>車両のイグニッションスイッチがON、またはエンジンONの状態になっているか確認してください。</li> <li>バッテリーの電圧が高すぎる、または低すぎる状態にないか確認してください。</li> <li>通信しようとしている車種・システムが本製品の対応車種・システムに含まれているか確認してください。 それでも通信しない場合は、選択したシステムが車両に搭載されていない可能性があります。</li> <li>診断する車両が正しく選択されているか確認してください。</li> </ul>
アップデート期限が切れていますと表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>アップデートの有効期限が切れると、車両診断、保存データなどの機能が使用できなくなります。お使いいただくためには診断ソフトの更新をお申込みいただく必要があります。</li> </ul>

他の症状、エラーメッセージについてのお問い合わせは、GVCIに表示されているシリアルナンバーをご確認の上、製品保守センターまでご連絡ください。

■株式会社インターリンク 製品保守センター

Tel 0570-064-737

受付時間 10:00~17:00(月曜日~金曜日)



## 株式会社 インターサポート

〒310-0803

茨城県水戸市城南1丁目6番39号

Tel 029-303-8021 Fax 029-303-8022

## G-scan Webサイト

(取扱説明書、対応車種の最新の情報はこちら)

<http://g-scan.jp>

## 製品保守センター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737

受付時間： 10:00～17:00

受付日： 月曜日から金曜日

(弊社休業日および祝祭日を除く)

2016年8月発行 第2版

本書を株式会社インターリンクスの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。 G1PZFDN001-34-2